

参加
無料

みんなで考えてみよう、まちと海の未来

気候変動と地域の海 未来を考えるセミナー

2026年2月1日 13:30-16:00

受付開始13:00～

会場：周防大島町地家室園地拠点施設

所在地：山口県大島郡周防大島町大字地家室709番地4
オンライン情報は申し込みされた方へお送りします。

オンライン配信・アーカイブ配信あり

このセミナーは、すべての方々が対象です。

海に関わる事業者の方、地域住民の方、高校生・中学生、教育関係者の方など特にご参加お待ちしています。気候変動により引き起こされるリスクとチャンスを共に学び、備え、地域の自然、暮らし、観光等の産業を守るために何ができるのか、考えませんか？

ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください！

定員（現地）：50名程度

program

■海の気候変動と気候変動適応の取り組みについて

国立大学法人広島大学 環境安全センター長 教授 西嶋 渉氏

■周防大島ニホンアワサンゴ群落や海の変化およびそれに対する適応活動について

環境省委嘱自然公園指導員 藤本 正明 氏

■広げよう！高緯度サンゴの輪

高緯度サンゴ群集域気候変動適応ネットワーク事務局

公益財団法人黒潮生物研究所所長 目崎 拓真氏

■周防大島町の取組について

■質疑および意見交換



お申し込み

右の二次元コードまたはURL：<https://forms.cloud.microsoft/r/eUgSfSTARz>

よりお申し込みください。アクセスが難しい場合は、下記問い合わせのメールアドレスまで

①お名前（ふりがな）、②所属・役職、③連絡先（e-mail、TEL）、④参加方法（現地／オンライン／アーカイブ）をお送りください。

問い合わせ先：(株)よかネット 中川・水田・櫻井・益戸

chushikoku_tekio@yokanet.com Tel:092-283-2121



※個人情報の取扱い：お申し込みによって得られた個人情報は、株式会社よかネットにおいて厳重に管理し、本セミナー開催における業務の目的のみに利用し、法令等に基づく場合を除き、第三者への提供はいたしません。また、利用目的終了後、適切な方法で廃棄いたします。

主催：環境省中国四国地方環境事務所 協力：山口県、周防大島町

登壇者プロフィール

■国立大学法人広島大学 環境安全センター長 教授 西嶋 渉氏

昭和62年3月同大学大学院環境科学研究科修士課程修了、平成4年2月広島大学工学部助手、12年5月同大学大学院工学研究科助教授、17年8月同大学環境安全センター教授、18年4月同大学環境安全センター長。瀬戸内海における栄養塩類の管理手法や気温上昇に伴う海水温変化のモニタリングなど、気候変動が水環境・生態系へ及ぼす影響の定量的評価に取り組む。気候変動適応中国四国広域協議会アドバイザー。

■環境省委嘱自然公園指導員 藤本 正明氏

自然公園指導員、山口県自然環境保全審議会委員、山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会会長、NPO法人自然と釣りのネットワーク理事。20年間にわたり、周防大島に生息するニホンアワサンゴを調査、保護している。

■高緯度サンゴ群集域気候変動適応ネットワーク 事務局 公益財団法人黒潮生物研究所所長 目崎 拓真氏

黒潮生物研究所に入所し、サンゴの産卵生態の研究に没頭。近年、高緯度サンゴ群集域気候変動適応ネットワークを立ち上げ、高緯度サンゴ群集域のサンゴの保全活動に取り組んでいる。日本サンゴ礁学会 調査安全委員会・サンゴ礁保全学術委員会・選挙管理委員会委員長、気候変動適応中国四国広域協議会アドバイザー。

会場について

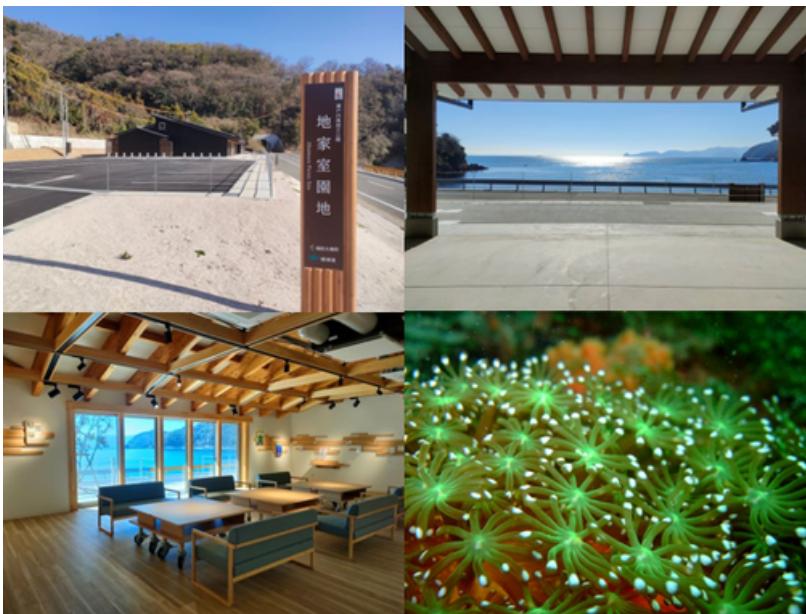
周防大島町地家室園地拠点施設

所在地：山口県大島郡周防大島町大字地家室709番地4

(電話0820-80-4020)

山口県周防大島町の地家室（じかむろ）沖合は、世界最大級のニホンアワサンゴ群生地として知られ、瀬戸内海の海域公園に指定されています。

周防大島の沖で確認されたニホンアワサンゴの群生地は、広さが約3,000m²もあり、10万個体以上が生息しています。本施設は、ニホンアワサンゴの飼育や資料の展示を行うことにより、周防大島町の一部である白木半島地域をはじめとする瀬戸内海の自然環境の魅力を発信するとともに、施設の使用を通じて農山漁村と都市との交流を促進することを目的に設置されています。



周防大島町HPより

主催：環境省中国四国地方環境事務所 協力：周防大島町